

第3学年 音楽

第3学年の学習到達目標

- (1) 進んで音楽にかかわり、音楽活動への意欲を高め、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにする態度と習慣を育てる。
- (2) 旋律に重点を置いた活動を通して、基礎的な表現の能力を伸ばし、音楽表現の楽しさを感じ取るようにする。
- (3) 音楽の美しさを感じ取って聴き、様々な音楽に親しむようにする。

第3学年の主な学習内容

学期	単元名 は鑑賞教材	学習のねらい	学習内容
前期	学年の歌 友だち	年間を通して愛唱したり、歌う楽しさを味わったりする。	
	階名になれよう 春の小川 ドレミで歌おう 茶つみ 海風きって	旋律を階名で模唱したり視唱したりして、楽譜を見て歌うことに慣れるようにする。	歌詞の表す情景を思い浮かべながら歌う。 階名で歌う。 階名で覚えたふしを楽器で弾く。
	リコーダーに親しもう 小鳥のために / (さん歌) 小さな花 かりかりわたれ さよなら	リコーダーの音に気を付けて聴いたり、基本的な奏法を身に付けたりすることができるようにする。	リコーダーをふくタンギングに慣れる。 きれいな音でふく。
	いろいろな音のちがいをかんじとろう うさぎ おかしのすきなまほう使い 茶つみ / (かりうどの合しょう / バイエルンポルカ / トランペットふきの休日)	音の特徴や音色の違いを感じ取って、想像豊かに聴いたり表現したりすることができるようにする。 イメージに合った音を探して、表現の仕方を工夫することができるようにする。	日本に古くから伝わる音楽に親しみをこめて歌う。 魔法をかけるイメージをふくらませ、いろいろな音や組み合わせを工夫して魔法をかける音をつくる。 金管楽器の音を聴き比べる。
後期	ふしのとくちょうをかんじとろう バードウォッチング 馬にのって ふじ山 ねむたいこねこ エーデルワイス	旋律の特徴を感じ取って、想像豊かに聴いたり表現したりすることができるようにする。 旋律の特徴を生かして、歌い方や楽器の演奏の仕方を工夫することができるようにする。	ふしの感じの違いに気を付けて歌う。 ふしの感じの違いに気を付けて聴く。 歌詞の表す情景を思い浮かべながら歌う。 なめらかなふしの感じを生かしてふく。
	曲の気分をかんじとろう ちびっこカウボーイ ハックルベリーフィン ゆかいな木きん	曲想を感じ取って、想像豊かに聴いたり表現したりすることができるようにする。 歌詞の表す様子を思い浮かべて、歌い方や楽器の演奏の仕方を工夫することができるようにする。	曲の気分を生かして歌う。 様子を思い浮かべながら聴く。 曲の気分を生かして合奏する。

後期	音をきき合って合わせよう あの雲のように 二人でおどりましょう パフ	声や音が重なり合う響きを感じ取って聴いたり演奏したりすることができるようにする。 互いの声や音を聴きながら、拍の流れに乗って演奏の仕方を工夫することができるようにする。	いろいろな音の重なりを楽しみながら演奏する。 歌と楽器の響きを聴く。 音の重なりを感じながら合奏する。
	生き生きと歌おう きょうりゅうとチャチャチャ あの青い空のように きみがよ	発声や呼吸の仕方に関心をもって歌い方を工夫したり、声をそろえて歌う喜びを味わったりすることができるようにする。	リズムにのって歌う。 呼吸の仕方に気をつけて、発声や発音を意識して歌う。 かけ合いや一緒に歌うタイミングに気をつけて歌う。

評価の観点・方法

<p>(1) 評価の観点</p> <p>【音楽への関心・意欲・態度】 進んで音楽にかかわり、音楽活動への意欲を高めるとともに、生活を明るく潤いのあるものにしようとしている。</p> <p>【音楽的な感受や表現の工夫】 曲想や音楽を特徴付けている要素を感じ取り、それらを生かした表現や鑑賞の仕方を工夫している。</p> <p>【表現の技能】 音楽を聴いたり楽譜を見たりして演奏するとともに、呼吸及び発音の仕方に気を付けて自然で無理のない声で歌ったり、音色に気を付けて楽器を演奏したり、音楽をつくったりしている。</p> <p>【鑑賞の能力】 音楽を特徴付けている要素や、楽曲の仕組みに気を付けながら、曲想の変化を感じ取って聴く。</p>	<p>(2) 評価の方法</p> <p>左の4項目について、活動の様子や、歌やリコーダーでの演奏、学習プリントなどにより評価します。</p>
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------

特色ある学習方法

<p>(1) 歌い方や演奏の仕方など話し合うグループ活動を取り入れ、工夫して曲にあった表現ができるようにします。</p> <p>(2) 友達の演奏を聴いて良かったところを見つけたり、進んで自分の演奏を工夫したりする活動を多く取り入れ、音楽的な要素を感じ取る力を育てます。</p> <p>(3) 一人一人の発表の場を多く取り入れ、個人指導をしていきます。</p> <p>(4) いろいろな楽器をどの子も体験できるように、準備をしておき、音楽表現の楽しさを感じ取れるようにします。</p>

使用教材等

<p>教科書「小学生のおんがく3」(教育芸術社) リコーダー曲集・CD・ビデオ・楽器(リコーダー・鍵盤ハーモニカ)・歌集などを使用します。</p>

留意事項

<p>(1) 家庭で歌を歌ったり、リコーダーを演奏したりしていたらしっかり聴いてあげてください。リコーダーは3年生になって初めてふれる楽器です。最初は、音程がずれたりリズムが合わなかったりして聞き苦しい時があるかもしれませんが、温かく見守ってあげてください。</p> <p>(2) リコーダーの個人指導をしていきますが、指が小さくて穴をふさぐのが難しい子どももいます。焦らず指導をしていきたいと思っていますので、よろしくお願いします。</p>
